

子育て支援教育



水原 耕一議員

Q 学校給食の充実と災害時の取り組みは

A <町長>

給食は利用率の変動により検討する。災害時は給食委託業者への発注を検討する。

【Q1】子ども達に「温かい給食」を食べてもらうため、今の弁当箱方式から、保温性の高い食缶での提供に変えてはどうか。

【A1】給食利用率が高水準にあるため、現段階においては、現行のランチボックスでのデリバリー給食を継続しながら、充実を図る。利用率が、下がるようであれば、アンケート等を行い検討する。

【Q2】学校給食の地産地消に向け、町として何か取り組んでいるのか。

【A2】女性農業委員を中心としたボランティアの皆さんが、休耕地を利用して熊野産の黒大豆を生産している。それを学校給食に提供する予定である。

【Q3】大雨警報などで突然休校になった場合、給食を廃棄すると聞いたが、避難所に避難されている方への提供は出来ないか。

【A3】給食の調理開始後に急遽臨時休校となった場合には廃棄することになるが、調整がつけば提供は可能だと思われる。

【Q4】災害時、避難者の方への食事の提供を、給食の委託業者で対応する事は出来ないか。

【A4】昨年の災害時には給食委託業者や、町内の弁当業者で対応した。今後も大量の食事が必要な時には、発注も検討する。



竹爪 憲吾議員

Q 不登校の現状と対応は

A <町長>

不登校は上昇傾向にある。学校・保護者・関係機関と連携し、適切な対応に努めている。

【Q1】熊野町の児童・生徒の不登校の現状と、これまでの推移は。

【A1】今年度の1学期末現在、小学校4名、中学校24名が不登校となっている。過去3年間の推移は小3、0、5名、中、18、22、37名という状況である。

【Q2】不登校の子どもの話を聞き、原因を把握し対応ができてきているか。

【A2】担任教員等が家庭訪問し、本人と面会、保護者とも連携し、原因を探り、その解消に努めている。その上で将来、社会的な自立を目的に個別の指導計画を策定し、支援に努めている。

【Q3】それらの対応で子ども達に変化はあるか。

【A3】少しずつ効果が見られるが、すぐに改善につながらない。

【Q4】不登校の子どもの中にはフリースクールへ通う子どもいると聞くが、熊野町ではどうか。

【A4】現在、2名の生徒が通っている。

【Q5】教育機会確保法により不登校の子どもへの支援が広がり、広島県でも調査検討中である。町としても不登校の子どもの将来を支える仕組みを考えていただきたいが。

【A5】今後の国、県の動向を注視し考えたい。

健康福祉



中島 数宜議員

Q 民生委員改選状況と、次期改選までの対策は

A <町長>

「なり手不足」は顕著となっている。民生委員確保に向け、諸施策を推進する。

【Q1】8月末の改選状況は。

【A1】定数48人に対し、今期の一斉改選では、欠員3人と、辞任される方を含め、19人の改選が必要だが、8人確保ができていない状況である。

【Q2】改選にあたっての課題は何か。

【A2】生活困窮者などの支援対象者や業務量の増加、地域福祉ニーズの多様化・複雑化による負担増が主な課題である。

【Q3】次期改選時までの具体的対策は。

【A3】地区社協等、地域活動の中で、民生委員への協力体制の強化や、人材の確保に努める。

【Q4】活動内容を考慮し、活動費を増額し、民生委員の労に配慮するべきではないか。

【A4】国から5万9千円(年)、町から10万8千円(年)となっているが、近隣市町の状況を注視し、適正化に努める。

【Q5】民生委員の推薦は自治会長のみならず、町全体で選出する仕組みを考えるべきではないか。

【A5】「民生委員選出委員会」の設立を含め、他市町の取り組みを聴取し、実効性のある施策を講じていく。



沖田 ゆかり議員

Q 児童虐待防止の体制強化を

A <教育部長>

関係機関との情報共有を図り、早期発見・早期対応に取り組む。

【Q1】昨年度の町内児童虐待相談対応件数は22件と伺っているが具体的なことは。

【A1】22件の内、身体的虐待が17件、心理的虐待が4件、ネグレクト(育児放棄)1件で対象年齢は未就学児が7人、小学生が11人、中学生が2人、高校生が2人となっている。

【Q2】不登校の児童・生徒の情報の子育て・健康推進課や西部こども家庭センター(児童相談所)と共有されているのか。

【A2】児童虐待防止ネットワークとして情報共有している。

【Q3】子どもから直接SOSを出せる方法を確認し、関係機関の連絡先を伝えているのか。

【A3】児童相談所全国共通ダイヤル189のリーフレットなどを教室に掲示している。

【Q4】リスクの高い事案については、最悪の事態に発展するかもしれないとの強い危機意識を関係者全員が持ち、子どもの命を守ることを最優先すべきではないか。

【A4】早期発見・早期対応を第一に優先していく。

